

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十六年七月度 入選句（投稿総数二千百三十八句・一般投句数五百二十六句）

特選

欲しいもの何ひとつなき端居かな

福井県福井市

三ツ山しげ子

選者

大橋庄一郎

老後の生活や環境に万全を期され、準備され、今更何ひとつ要らないと云はれる、素晴らしい生活を送ってみえ、暑かった日の夕方は涼しい風が入る縁側や窓辺に座を占めてくつろがれ、一日の終わった安堵感の中で団扇を使い蚊遣りをたきながら、庭を眺られるのは心落ちつくひとときで、余裕の有る楽しい俳句を詠まれ最高の人生を送って居られます。

夕立ちに会う度増える安い傘

大垣市

林ひとみ

西濃地方はこの夏大雨は少なかったが夕立は時々有った。天気予報を重要視し折畳傘等を持参されるといいのだが、仲々そんな慎重な人は少ないし、予報が当らぬ時もあり、忘れる事も多い。「コンビニを始め傘を売る店が多く安い事も有って、簡単に買い求め、家に安物傘が数本有る方が多いと思う。楽しい時事俳句です。

老農夫一点となりし大稲田

大垣市

今津正元

農業の後継者不足をよく云はれる、広い広い大稲田に老農夫が一点、広大な作付け田の中で永年農業を職として、戦後の食料難時代も含め農業を業として立派に生きて来られた年老いた農夫が一人居られる。雄大な壮大で爽快な句です。

秀逸

亡き父にあいたさつのお盆来し

大垣市

三摩法恵

春駒を下駄割れるほど妻をどり

不破郡垂井町

内海白涛

長話しとなりて日傘の欲しきかな

大垣市

山田千歌子

草取りを日延べしており晴続き

大垣市

山田千歌子

七夕に願いをこめて星を見る

大垣市

田林文江

七夕に夢は大きく書く園児

不破郡垂井町

高木しげ乃

孝子の地破魔矢六本滝開き

不破郡垂井町

高木しげ乃

軸替へて香聞く夕べ夏座敷

大垣市

新町恵子

いつしかに父の齢や花は葉に

愛知県豊田市

城山憲三

入選

暗闇に夫の背追い螢狩り
 ホトトギスの初音に目覚め山の宿
 夏の朝ベランダうめて布団干し
 楽しげにはしゃぐ園児やプールの日
 滝道の句碑に木洩れ日風薫る
 梅漬ける行き先すでに決まりをり
 空梅雨や名水ほそくなりけり
 カンバスに一色足して七変化
 梅雨晴の病室白寿の誕生歌
 あめんぼう水面の雲を蹴散らしぬ

大垣市 安田むつこ
 大垣市 安田むつこ
 大垣市 平野ヒサエ
 大垣市 北浦典子
 大垣市 鶴田信子
 大垣市 下村常子
 大垣市 藤井美奈子
 岐阜市 堀江美州
 養老郡養老町 田中紫香
 兵庫県神戸市 岸下庄二

入選

雨含み紫紺なお増す四葩かな
 七十路やなほ母を恋ふ合歡の花
 よりそって花火の音と下駄の音
 巫女の鈴茅の輪くぐりの人つづく
 梅雨寒や病院廊下の長きこと
 彩見せてその数みせて未草
 口程に動けぬ長老溝浚へ
 はつらつとソーラン踊り夏祭
 真四角なサイコロ西瓜道の駅

不破郡垂井町 富田天游
 大垣市 下村常子
 大垣市 三摩法恵
 大垣市 川瀬喜梅古
 大垣市 久保田悟義
 養老郡養老町 田中秀子
 大垣市 渡邊一光
 安八郡神戸町 澤崎和子
 大垣市 伊藤有紀

選者吟

終戦日語り合ふ友少ななり

庄一郎